

伊
好

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩 会 発行

6年	7月現在	員数
返葉大	地区	181名
(合	地区	210名
	地区	43名
	計	434名)

6年	7月	(264号)
発行	岸	者
根編	集	者
中	村	愛

予定行事

○県本部指導者吟道講座

日時・8月7日(日)9時受付

会場・横須賀ベイサイドポケット

※吟道手帳持参(詳細は5月号に記載)

平成6年度

碩心会理事会議事録

日時・5月27日(金)午後7時より

会場・桜山下会館

定例会、加藤(柳)副会長の開会の辞に続き、竹石教務部長の先導で「碩心の詩」を合吟。次に根岸会長より「当会の理事会は総会に代る大切な会議であるので充分審議して貰いたい」、会場の関係で8時45分までに完了せねばならないので御協力を」との挨拶あり。

議事に入るに当り、議長及び書記の選任を諮ったところ、会長一任の声により、議長に根岸会長、副議長に加藤(柳)千葉の両副会長、書記に宇都宮総務副部長が指名され承認さる。次いで理事以上66名中45名の出席数が確認され、理事会の総立が認められた。

議 事

逗子地区長 村 田 澗 岳

去る3月27日の第104回全国大会に女子20名

による合吟コンクールに出場、第三位を獲得

したが、出場者の努力、関係者の協力に御礼

返子吟舞連大会、青少年大会にも出吟した

皆様に御礼。

来る6月26日の碩心会温習会、9月18日の

神奈川地区吟道大会にも御協力を。

葉山地区長 沼 田 義 岳

本年の碩心会地区温習会は葉山地区が担当

により、会場は葉山文化会館を予定。12月中

旬頃開催の予定なので絶大なる協力を。

去る4月29日皆伝会が開催されたが、年毎

に出席者が減少しているので、趣向等アンケ

ートをとって企画を検討し、出席者の増加を

計ったかどうか。

来る9月18日の神奈川地区大会への出吟割

当を、各支部長にお願いしているが、5月末

日までに提出されるようお願い。

大船地区長 木 村 松 岳

昨年11月3日の大船地区温習会には各地区

の皆様、絶大なる御協力により、盛会裡に

完了でき、厚く御礼申しあげる。

會計部長 矢嶋悦岳

昨年から碩心会費をアップしていただき、おかげで会の運営がスムーズに実施でき御礼。

企画部長 綾部秋岳

来る6月26日の碩心会温習会は、皆様の協力によりプロも完成、準備を進めている。特に当日の役員の方に御協力お願いします。

広報部長 中村岳愛

月報「碩心」にできるだけ早く、各種行事の報告を優先的に掲載。

7月号で創刊以来22年となる。

許証部長 中村岳郵

3月の昇段審査会での昇段者及び2月の準師範の許証は6月26日の温習会で授与する。

秋季審査会は9月4日(日)を予定している。

教務部長 竹石岳泓

7月23〜24日の総本部主催夏期吟道講座への希望申し込みは、応用講座6名(九段会館)基礎講座7名(日本教育会館)。後日入場券を届ける。

8月7日(日)県本部主催指導者吟道講座は、横須賀ベイサイドボケットで行なわれる。準師範以上58名中45名が参加。

総務部長 加藤岳洵

収支報告の審議にさきだち、その前提として、平成5年度事業報告を、碩心会、県本部、総本別に別紙資料を配布し説明。

平成5年度収支決算報告の件

矢嶋會計部長から別紙平成5年度収支決算書(次期繰越五三万八千九百九十九円)の詳細なる説明があり、更に教本等特別会計、及び碩心会60周年大会積立金特別会計(積立金七六万九千九百二十二円)の報告があり、監査代表鈴木(孝)より、相違なしとの報告があり、満場一致の拍手で承認。

平成6年度収支予算審議の件

収支予算の審議にさきだち、加藤(前)総務部長より平成6年度事業計画案別紙資料を配布説明。矢嶋會計部長から別紙平成6年度予算書(案)の説明があり、若干の質疑応答を経て賛否を語り、満場の拍手で承認さる。

任期満了による役員改選の件

根岸会長より、会長就任以来20年を過ぎ、又其の他の件で辞任の申し出があったが、会

長以下全役員、原則として留任することを前提に決着。

竹石教務部長が健康上の理由で引退の申し出があり、杉山前許証副部長が新教務部長に。

総務部を総務、庶務の二部に分担し、加藤(前)総務部長留任、松井前企画副部長が新庶務部長に。

以上で理事会の議事すべてを完了。議長団及び書記解任。

最後に千葉副会長の、理事会の熱心な討議を踏まえて、懸案を任期内に充分検討するとので終了。(8時30分)

(役員)

会 長	根岸岳萃	庶務部長	松井正岳
副会長	加藤岳相	野地区長	村田澗岳
"	千葉岳関	麩地区長	沼田義岳
相談役	三井岳隴	会計監査	鈴木孝岳
総務部長	加藤岳洵	"	鈴木萃岳
許証部長	中村岳郵	参 事	沼田岳雷
広報部長	中村岳愛	"	井沢岳潮
教務部長	杉山雪岳	"	小峰岳海
會計部長	矢嶋悦岳	"	竹石岳泓
企画部長	綾部秋岳	"	森田岳鈴

尚6月4日(土)常任理事会に於て、左記副部長が選出されました。

(副部長)

総務副部長 宇都宮徳岳

許証 渡辺秀岳 白井麗岳

広報 山口夕岳 佐久間爽岳

教務 佐藤湧岳 立澤御岳

会計 西村昌岳 高井定風

企画 上村象岳 内山俊岳

庶務 鈴木南風

野副地区長 田中明岳 森 晴岳

勲 三留岑岳

燧 岩崎岳恵

祖宗範木村岳風先生を偲んで

戸塚 光岡 洗岳

思えば四十余年も前のことであるが、長い歳月を経て、今なお鮮明に脳裏に甦える思い出がある。

それは昭和二十五年の真夏、茹るような暑さの中、戸塚消防署の二階では、秋の招魂祭剣道大会に向けて、剣道の特別稽古が行なわれていた。昼少し前のことである。突然放送

が入った。「直ちに剣道を中止して講堂に集合せよ」。私は手早く防具を外して剣道着のまま講堂の最前列に並んだ。暑くて、拭いても拭いても玉のような汗が滴り落ちた。

その時既に、紋付の着物に白袴姿の温かな面持ちの方を中心に、口髭を生やした方と、背の高い端正な姿の方が待つていられた。庶務係長が、只今長野県の諏訪から、詩吟の木村先生がお見えになられたと紹介。木村先生は、演壇の机を隅の方に片寄せて、直接私達の前にお立ちになり、今日は藤沢へ寄つて、これから鎌倉警察署へ行く途中だが、剣道の音が聞えたので立寄らせていただきましたと挨拶された。

それから何を話されたか定かでないが、概要は、敗戦で人心が乱れがちであるが、大和魂まで奪われてしまつてはならない。この時こそ、心を引き締めて、お互い力を併せて、祖国復興を成し遂げなければならぬ……と力説されたように記憶している。

つづいて幾編かの詩を吟じられた。その時付き添いの方は伴奏の人かと思えたが、何の前奏もなく、何の鳴りものもないまま、毅然とした態度で、天地をも揺がすような強い吟

調で、朗々と吟じられた。その場に拝聴する者総ての人が感嘆して聞き入った。詩吟は心の呻きであり、真心の吟であるためには、伴奏も、鳴りものもいらぬ……と理解できたのは、碩心会に入会してからである。

なお、先生は詩文の心を熟知することの大切さを話された。乃木希典の『金州城下の作』では、幾万の兵を失い、我が子をも失った乃木將軍の心境を説明された。復員して間もない私には、身に沁みて感ずるところがあった。その他色々講義されたが、長い歳月に風化して断片的にしか覚えていない。最後に先生は、剣道の好きな者は、きつと詩吟も好きになりますよと申された。

その後私は、折にふれては「山川草木……」と口ずさんだものですが、間もなく消防局へ転勤を命ぜられて、仕事も忙がしくなり、夜は夜学に通う毎日で、詩吟どころではなかつた。しかし、詩吟の魅力にひかれた私は、遂に昭和四十四年正月に碩心会に入会して、大船教場に通い、加藤先生はじめ、諸先生方の親切な御指導を受け、四十八年四月、戸塚教場を設立してからは、三井先生、鈴木(藪)先生の御指導を頂き現在に至りました。

顧みれば、当時木村先生は病を押して全国を行脚し、吟道の普及啓発に専念されていられたことを拝察し、感涙を新たにした次第です。祖宗範木村岳風先生の偉大な御遺徳に対して、心から感銘を深くすると共に、偶然にも先生の詩吟を身近で拝聴することができたあの日の回想を胸に、尚一層自己研鑽に努め、碩心会の発展に微力を傾注する覚悟です。

詩吟は心の支え

吟秀 星野 トシ子

傘寿を越えました今日この頃、詩吟をお習いする好機に恵まれましたことは、私にとりまして誠に嬉しい極みで、この頃は明け暮れ頭の中に詩文が流れているので、他の雑念がなく、気分も和やいでおります。

四方常磐木に包まれ「葉葉起清風」の素晴らしい環境の中に位置している老人ホーム葉山清寿苑での生活の中に、詩吟クラブの合吟の声が流れてまいりますのは、何とも奥ゆかしい感じがございます。

幸い施設長でいらつしやいます加藤芳風先生の、お心熱い御指導の下で、クラブ員十人余り、心も相和して、毎週金曜日の午後、三

十分間の時を最高に楽しませていただいております。お稽古歴漸く一年を経たばかりですが「亀の甲より年の功」と申しますが、来し方人生六十年、七十年の道を歩んできた方々です。詩の内容と心の表現が伴わないまして仲々味わいがあるやに思います。

近く加藤岳相先生がお稽古ぶりをみにお出で下さいますとのこと、会員には一層の励みになると存じお待ち申しあげております。

苑内がしーんと静まり返る夜半、月を求めて東のベランダに出ます。今夜は下限の半月が山の上に美しく、神秘的です。真山民の

我が心本月の如く

月も亦我が心の如し

心と月と両つながら相照らし

清夜長なえに相尋ねん

この詩を先生からお習いいたしますのはまだまだ遠い先のことのようにですが、私の心をゆさぶります。蚊の鳴くような声しか出ませんので人前ではお恥しうございますが、詩吟は私の心の支えになっております。

第17回 碩心会吟道温習会盛会に終る

6月26日、図書館ホールに於て行なわれた右会は開会前から満席、新しい顔ぶれも多く最高に盛りあげりました。

(合吟コンクール入賞)

- 一位 逗子A支部・村井知風他
- 二位 真澄支部・新井順風他
- 三位 // 森 晴岳他
- 四位 堀内支部F・矢嶋晃風他
- 五位 // 村上雅風他

(入会)

- 733 丸山節子 葉山町一色五二六一二九
- (一色A) ☎〇四六八一七五―七七〇一
- 734 沼尻 西 逗子市山ノ根三一五一―一五
- (山ノ根) ☎〇四六八一七二―〇八五一
- 735 中尾邦廣 逗子市久木八一―二―四八
- (若葉) ☎〇四六八一七二―〇二七四
- 736 岡本瑞風 鎌倉市台四―一―十
- (大船A) 鎌倉台サンハイツ 601
- ☎〇四六七―四三―一四八二
- (退会)
- 310 松田美風(一色A) 335 石井武風(銀詠)
- 633 沼田矢泉(下山口)